

《鵬翔高等学校 特別講演会「AIと人間の共生」を開催しました》

令和8年10月22日、本校多目的ホールにおいて、島田淳一先生（北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授・未来デザイン研究センター長）を講師にお迎えし、特別講演会を開催しました。講演には、特進英数科2年生および未来創造学科 ICT 未来型ものづくりコース3年生の計125名が参加しました。

今回の講演テーマは、

「AI時代の『賢さ』とは何か？ ～道具に『使われる人』と『使いこなす人』の決定的な差は～」でした。

講演の中では、AIと人間それぞれの強みや弱みをはじめ、創造性や倫理、責任の所在、さらにはAIとの適切な関わり方について、具体例を交えながらわかりやすくお話いただきました。

特に、「AIは便利な道具である一方、最終的な判断や責任は人間が担う」という視点は、生徒たちにとって大変印象深い学びとなりました。

また、生成AIが急速に普及する現代社会において、AIを過信するのではなく、その仕組みや限界を理解しながら活用する「AIリテラシー」の重要性についてもご講話いただき、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

講演後の質疑応答では、生徒から積極的な質問が寄せられ、AI技術の未来や人間の役割について理解を深める貴重な機会となりました。今回の講演を通して、生徒たちはAI時代を主体的に生きるために必要な力について考えとともに、自ら学び続けることの大切さを改めて認識することができました。

本校では今後も、第一線で活躍される研究者や専門家を招いた学びの機会を積極的に設け、生徒たちの視野を広げ、未来を切り拓く力の育成に努めてまいります。

（文責：教頭 吉田成哉）



《北陸先端科学技術大学院大学(JAIST) 先端科学技術研究科 教授 島田 淳一 氏》





